

## 【資料 2-12】「研究を他者に語る」実施アンケート結果

## 研究を他者に語る

総合人間学部では、各学生が、自身とは異なる学問分野を専門とする教員に向かって、研究内容を発表する「研究を他者に語る」と題した取組みを行っています。自分が取り組んでいる研究の内容を異分野の教員に対して「説得的に」語ることで、学術の知とその意義を専門外の人にわかりやすく語るコミュニケーション能力を身につけるとともに、自分の研究を相対化し客観視することで、多様かつ総合的な視点で物事を観る能力を培うことを目指します。

## 学生へのアンケート

		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
全体		144			
回答数		61	-	125	53
回答率		42.4%			
「研究を他者に語る」について どう思いましたか。	① とても有意義に感じた	21.3	-	48.0	24.5
	② 有意義に感じた	52.5	-	28.8	47.2
	③ ふつう	23.0	-	19.2	18.9
	④ あまり有意義に感じなかった	3.3	-	4.0	9.4
あなたが興味をもって研究し、 楽しいと感じたことを相手に 伝えられたと思いますか。	① 自分の研究成果と共にその 楽しさを伝えられたと思う	-	-	51.6	50.0
	② 研究は伝わらなかったが、 楽しいことは伝わったと思う	-	-	25.0	22.2
	③ 事実は伝えたが、楽しさは 伝えられなかったと思う	-	-	12.9	22.2
	④ よくわからない	-	-	10.5	5.6

## 聞き役教員へのアンケート

		2021 (R2)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
全体		134			
回答数		72	-	70	89
回答率		53.7%			
「研究を他者に語る」について どう思いましたか。	① とても有意義に感じた	34.7	-	34.3	31.5
	② 有意義に感じた	52.8	-	47.1	50.6
	③ ふつう	8.3	-	12.0	11.2
	④ あまり有意義に感じなかった	4.2	-	6.6	6.7